

気候変動でアラスカクルーズ のシーズン延長可能性 ノルウェー・クルーズ 社のCEOが語る



北ノルウェー・クルーズライン・ホールディングス最高経営責任者（CEO）のフランク・デル・リオは24日、気候変動がアラスカクルーズのシーズン延長に一役買い、業界に新しい収益機会をもたらす可能性があるとして述べた。気候変動によってアラスカは世界全体の2倍以上の速度で温暖化する中、漁業に打撃を与え、山火事の発生率を高めているが、同州の観光業の一部では、1年のうち暖かい気候の週が延長されることで多少の恩恵を受けている。

記事参照：Climate change likely extending Alaska cruise season, says Norwegian Cruise CEO - ArcticToday (2022.10.7/Arctic Today)

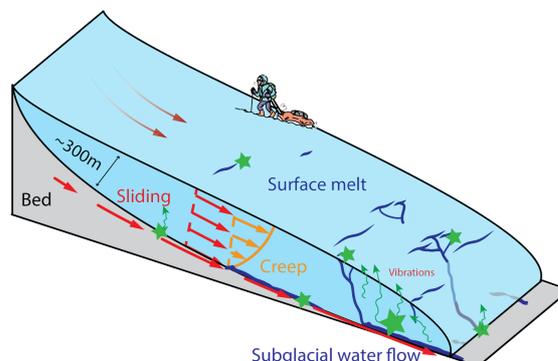
→Glaciers move thanks to the presence of liquid water at the ice-bed interface. Even the slightest movement creates a vibration that can be recorded by our seismometers. (Ugo Nanni, Author provided)

溶けゆく氷河の歌を聴きながら



音は、氷河の地下数百メートルで起こっていることを科学者が解明するのに役立つ。私たちの科学的使命は、コングスヴェーゲン氷河の声に耳を傾け、その下にある岩床に及ぼす力を測定することである。もし、この力が岩床の許容量を超えていたら、深刻な問題に発展する。氷河のわずかな動きにも振動が発生し、その振動には氷河のダイナミクスに関する重要な情報が含まれている。私の仕事は、これらの音を分析して、氷河がどのように動き表面の融解にどのように反応し、クレバスがどのように開き、その深部で何が起きているのかを理解することである。

記事参照：Listening to the song of melting glaciers - ArcticToday (2022.10.11/Arctic Today)



北米西海岸沿いのコククジラ の数 2016年から約40%減少



米国が発表した調査結果によると、北米の太平洋岸を回遊するコククジラの数、2016年のピーク時から40%近く着実に減少し、今年の誕生は記録上最も少なかった。2016年の最高値27,000頭から今年の16,650頭への38パーセントの減少は、これまでの変動と似ているが、さらなる注意が必要であると、米国海洋大気研究局の報告書は述べている。サンディエゴにあるNOAAの南西漁業科学センターの研究者は、最新の減少は完全に説明できないものの、北極圏で捕食する小さな甲殻類やその他の無脊椎動物のクジラの餌が環境変化によって変化したことなど、いくつかの要因が絡んでいると思われると述べている。

記事参照：Gray whale numbers along North America's west coast down nearly 40 percent since 2016 - ArcticToday (2022.10.10/Arctic Today)

ヌナブト準州のダイヤモンド 鉱山計画 野生生物と環境への懸念が高まる



デビアス・カナダ社のChidliakダイヤモンド鉱山プロジェクトの提案に対する政府や北部組織からの反応では、カリブーやホッキョクグマの個体数に対する懸念が目立つ。→

最高裁判決から1年、エネルギー危機が高騰する中、未だ残るフォーゼン風力発電所



ノルウェーのフォーゼン半島での風力発電所は、計画当初からノルウェー中部の地元住民の抵抗に遭っていた。この風力発電所は、ノルウェーのすべての風力発電所の合計よりも多くの風力を供給しているが、地元のトナカイの冬の放牧地に設置されている。冬の牧草地を失い、それが地域の文化に与える脅威を懸念する地元のトナカイ牧場のコミュニティの声に応え、ノルウェーの最高裁判所は、建設開始から5年、完成から1年後の2021年にこのファームを違法と判断した。しかし、判決から1年後、ヨーロッパを襲うエネルギー危機の高騰の中で、風力発電所は未だ建ち続けている。

記事参照：A year after Supreme Court verdict, Fosen wind farm still stands amid soaring energy crisis - ArcticToday (2022.10.14/ArcticToday)

デビアス社は、9月7日にNunavut Impact Review Boardにプロジェクトの提案書を提出した。鉱山は、イカルイトから約120キロ離れたホール半島沖に建設される予定。

記事参照：Nunavut diamond mine proposal draws concerns for wildlife, environment - ArcticToday (2022.10.14/Arctic Today)

アラスカを含む北極圏の アイスロードの時間的・空間 的な縮小を追跡する研究



北極圏の温暖化が加速しているため、極北の地でアイスロードを使用できる時間と範囲が狭くなっていると、科学者や産業界の利用者は何年も前から指摘してきました。中国・南京大学の研究者らが、アラスカを含む北極圏のさまざまな地域について、その損失を定量的に評価した。分析によると、北極圏全域で、長い冬を通じて、重要な地域が氷上道路建設に適した状態から適さない状態に変化していることがわかった。アラスカでは、12月と4月に最も大きな変化が起きていることがわかったが、1月、2月、3月という冬の最盛期にも、アイスロードに適した条件が失われたことがある、と研究者は述べている。

記事参照：Study tracks reductions in time and space for ice roads in the Arctic, including Alaska - ArcticToday (2022.10.19/Arctic Today)



The sun sets over the surface of an ice road in the National Petroleum Reserve in Alaska in a March 2008 file photo. (Wayne Svejnoha / U.S. Bureau of Land Management)

北極グマに餌を与えないで ヌナブト準州が警告



ヌナブト準州の環境局は、ホッキョクグマに餌を与えたり近づいたりしないよう警告している。「ホッキョクグマは危険で予測不可能なので、常に正しい距離を保つことが重要である」と、ヌナブト州政府部門のニュースリリースには書かれている。

記事参照：Don't feed the polar bears, Nunavut warns - ArcticToday (2022.10.25/Arctic Today)

「ナルシスト」ってイヌクテ イトゥット語で何という？ ヌナブト州政府とマイクロソ フトが知りたがっている



Microsoft Translatorに日常的な単語を取り入れる新しいプロジェクトがある。昨年度だけで推定800万語のイヌクテイトゥット語とイナクトゥン語が翻訳されたが、マイクロソフトとヌナブト州政府は、同州政府のオンライン・イヌクテイトゥット語翻訳機に追加する新しい単語について意見を求めている。

記事参照：How do you say 'narcissistic' in Inuktitut? Nunavut's government and Microsoft want to know - ArcticToday (2022.10.28/Arctic Today)

